

平成20年度病害虫発生予察特殊報第1号

平成20年10月10日
鳥取県病害虫防除所

- 1 病害虫名 メロン微斑病（仮称）
- 2 病 原 メロン微斑ウイルス Melon mild mottle virus ; MMMoV（仮称）
- 3 発生物 メロン（品種：プリンス）
- 4 発生確認の経過
(1) 平成20年3月、県内のハウス栽培メロン（プリンス）の葉にモットル症状が認められた。本症状から、ウイルス性病害が疑われたため、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターに診断を依頼したところ、精製ウイルスのゲノムの塩基配列解析の結果等から、ネポウイルス属の新種であるメロン微斑ウイルス（仮称）によるものであることが判明した。
(2) 葉及び新葉に認められたモットル症状は生育が進むと徐々に判別不能となり、収穫果実の外観上の品質低下も認められていない。
- 5 病 徴
本ウイルスによると考えられる病徴は、葉及び新葉部分に軽微なモットル症状を呈する。（写真1及び2）
モットル症状は生育が進むと徐々に不明瞭となる。しかし、植物種や品種により病徴の現れ方や被害の程度が異なる可能性があるため、病徴のみにより他のウイルス病と区別することは困難と考えられる。なお、罹病株の果実には明瞭な病徴は確認されなかった。
- 6 病原ウイルスの特徴
(1) ウイルス粒子の大きさ等
本ウイルス粒子は、外被タンパク質の分子量が約50～60kDaで、径約26～30nmの球状である。
(2) 宿主検定結果

表 メロン（プリンス）より分離されたウイルスの宿主検定

検 定 植 物	病 徴	
	接種葉	上 葉
ウ リ 科 メロン（雅）	+	モットル
マ メ 科 ササゲ（赤種三尺）	退緑斑点	モザイク
ナ ス 科 トマト（ルトガス）	+	+
ナ ス 科 <i>Datura stramonium</i>	えそ輪紋	-
ナ ス 科 <i>Nicotiana benthamiana</i>	退緑斑点	モットル
ナ ス 科 <i>N. Tabacum</i> cv. Samsun	+	+
アカザ科 <i>Chenopodium quinoa</i>	えそ斑点	えそ斑点、奇形
アカザ科 <i>C. amaranticolor</i>	えそ斑点	えそ斑点、モザイク

+ : 潜在感染、 - : 非感染

- (3) 伝搬方法等
現時点では不明であるが、本ウイルスが属すると考えられるネポウイルス属は、種子伝染、汁液伝染、土壌伝染（センチュウ等による伝搬）することが知られている。
- 7 防除対策
本ウイルスの伝搬方法は現時点では不明のため、既に知られているネポウイルス属の伝搬方法を考慮して次の対策を行う。
(1) ほ場で生育期間中に当該症状が認められた場合は、発症株を抜き取って、適切に処分する。
(2) 本ウイルスはセンチュウ類によって伝搬される可能性があるため、発生ほ場ではセンチュウ類の防除を行う。



写真1 株の状況



写真2 葉のモットル症状(拡大)